

本院、内分泌・糖尿病内科、腎臓内科、循環器内科、心臓血管外科に入院され 薬剤師による初回面談を受けた患者様・ご家族の皆様へ (診療情報の医学研究への使用のお願い)

この文書は、大分大学医学部附属病院薬剤部が実施する研究「MMASを用いた服薬アドヒアランス評価とCKD進展との関連性の検討」の情報公開を行うものです。本研究は、大分大学医学部倫理委員会で承認され、大分大学医学部長の許可を得て実施しています。この研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] MMASを用いた服薬アドヒアランス評価とCKD進展との関連性の検討

[研究の目的] 患者さん自らが治療方針の決定に参加し、積極的にその治療を受ける姿勢をアドヒアランスといますが、特に薬物治療に対する姿勢を服薬アドヒアランスといたします。この服薬アドヒアランスを評価する指標「MMAS-8」を用いてアドヒアランスを評価し、腎機能との関連性を調査します。服薬アドヒアランスが慢性腎臓病の進行に与える影響を明らかにすることを目的とします。

[研究の方法] 本院では、内分泌・糖尿病内科、腎臓内科、循環器内科、心臓血管外科に入院された患者さんに対して、薬剤師による初回面談を実施しています。その際に、MMASに沿った問診を行い、服薬アドヒアランスの評価を行っています。その評価結果や既往歴などの情報をカルテを用いて調査します。

1. 対象となる患者さん

(倫理委員会承認日)～2020年10月31日の間に、本院の内分泌・糖尿病内科、腎臓内科、循環器内科、心臓血管外科に入院され、自宅にて薬剤を自己管理している患者さん。

2. 対象者数

200名

3. 調査項目

初回面談を実施した際のMMAS-8スコア、年齢、身長、体重、既往歴、各種臨床検査値、服用薬、副作用歴、自己中断歴について、電子カルテより調査します。

4. 研究期間

2020年4月27日～2022年3月31日

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、カルテ番号など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除し、お名前の代わりに新たに符号をつける匿名化を行います。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[患者さんの費用負担等について]

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、患者さんはそれを請求することは出来ません。

[研究資金および利益相反について]

この研究は公的な資金(大分大学医学部附属病院薬剤部の寄附金)を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人との関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反(資金提供者の意向が研究に影響すること)」は発生しません。

[研究の参加について]

この研究へ情報提供されるか、されないかは患者さんご自身の自由です。この研究に情報を使用してほしくない患者さんは、下記[問い合わせ先]までご連絡下さい。その場合は、調査対象から外させていただきます。また、御協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

[使用させていただく患者さんの情報保存について]

使用させていただく患者さんの情報保存は論文発表後 10 年間としており、保存期間終了後は患者さんの情報はシュレッダーにて廃棄したり、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。

[外部への情報の提供]

本研究で収集した情報を外部機関へ提供することはありません。

[研究組織]

研究責任者

大分大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤主任 津下 遥香 (薬剤師)

研究分担者

大分大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤師 久保田 樹 (薬剤師)

大分大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤師 河野 浩之 (薬剤師)

大分大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長 龍田 涼佑 (薬剤師)

大分大学医学部附属病院 薬剤部 准教授・副薬剤部長 田中 遼大 (薬剤師)

大分大学医学部附属病院 薬剤部 教授・薬剤部長 伊東 弘樹 (薬剤師)

[問い合わせ先]

大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

大分大学医学部附属病院薬剤部 津下 遥香 (つした はるか)

電話 097-586-6108 平日：午前 9 時～午後 5 時